

# ひきじだい

令和3年(2021)年6月1日

水無月(6月)号



大和市立  
引地台小学校

## 自分からかがやく～主体的・対話的な学びを育む～

校長 箱崎 勝美

今年は、例年よりも早く、九州北部、四国、中国地方で梅雨入りしました。間もなく関東地方も梅雨入りが予想されています。あじさいが早くも色づき始める季節となりました。

休み時間になると、梅雨空のような曇り空の中でも、元気いっぱい遊んでいる子どもたちの歓声が校長室にも入ってきます。子どもたちの声を聞くと心が晴れやかになります。

新型コロナウイルス感染症予防にご協力いただき、感謝申し上げます。新型コロナウイルス感染拡大の収束が見えないところではありますが感染予防を十分に行いながら、教育活動を推進していきます。引き続き子どもたちの体調管理をお願いいたします。

さて、5月は、計画委員によるあいさつ運動がありました。計画委員の子どもたちがあいさつをすると、他の子どもたちもあいさつをします。子どもたちから進んであいさつの輪を広げようとする主体的な活動です。

授業では、Chromebookを活用した授業が行われています。昨年度は、学校のみでの使用でしたが、今年度より持ち帰って、調べ学習や自主学習などを行うことができるようになります。詳しいことは、Chromebook持ち帰りのお手紙とルーターの貸し出しのお手紙を配付しましたのでご覧ください。

ところで、なぜ、Chromebookが一人一台貸与されたのでしょうか。それは、「主体的・対話的な学び」を育むためではないかと考えます。

では、「主体的・対話的な学び」とはどのような学びなのでしょう。

第一に「主体的な学び」とは、一人ひとりの子どもが学ぶことに興味や関心を持ち、毎時間、見通しを持って粘り強く取り組むとともに、自らの学習をまとめ、振り返り、次の学習につなげるといった学びをいいます。

次に「対話的な学び」とは、あらかじめ個人で考えたことを意見交換したり、議論したりすることによって、新たな考え方に気がついたり、自分の考えをより広げたり、深めたりすることです。対話は子ども同士の対話に加え、子どもと教員、子どもと地域の大人との対話、それに書物を通じて、書いた人や歴史上の人物などとの対話を図ることも含まれています。

このような「主体的・対話的な学び」にChromebookを役立てたいと思います。

本校の本年度の重点目標は、「自分からかがやく」です。「か」は考える子、「が」は頑張る子、「や」はやさしい子、「く」は前の文字の「や」とつけて、「やく」で約束を守る子です。そして、自分から学んだことを発信して、本校の一人ひとりの子どもたちが、かがやいてほしいと願っています。6月もどうぞよろしくお願いいたします。

